

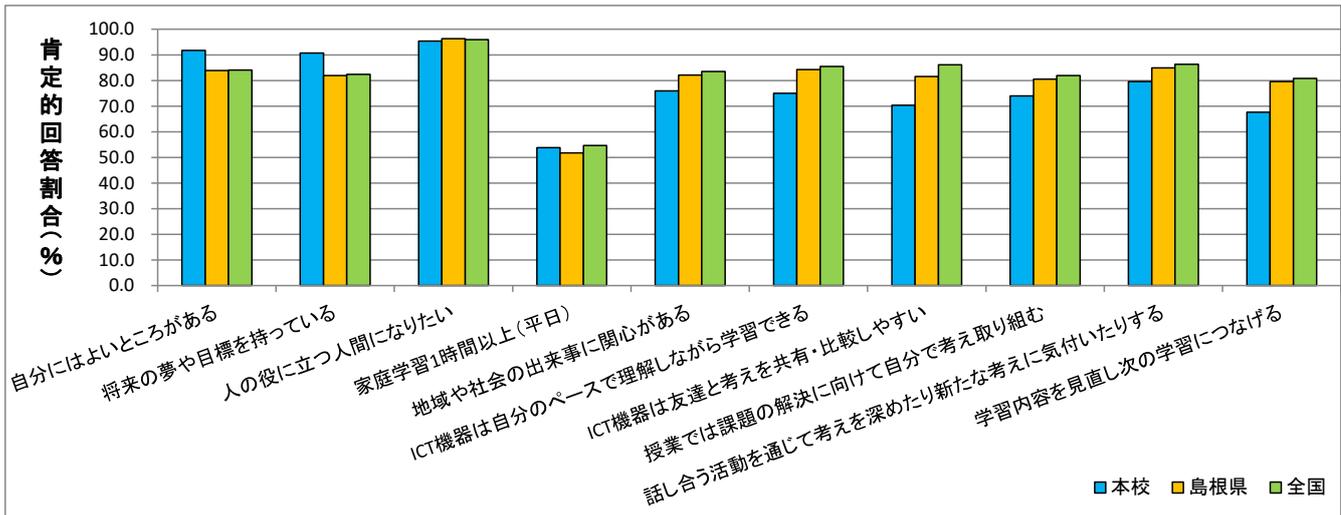
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○根拠が示されているものや条件があるものについては、文章にすることができる。 ●授業やテストで読み慣れた文章でも、漠然と「思ったこと・考えたことを書きましょう。」では書けない。日々のテストでも、考えて書いてはいるが、完全な状態にならないと消してしまい、無回答になる児童がいる。 ●問われたことに自分で文中から根拠を見つけて考えることは難しい。授業でも感覚で読んでいる児童が多い。	・書く力を伸ばしていくために、雛形を提示して書く練習を積み重ねていく。「何文字以内」、「○○という言葉を入れる」など条件を変えながら、様々な書き方に取り組んでいく。 ・文章から根拠や手がかりを見だし、読みを深めていくような授業を積み重ねていく。
算数	○県や国の平均に近い点数が取れており、基本的な内容はある程度理解できていると考えられる。 ○小数で割る割り算の問題については、計算の式が示されていたということと小数で割る計算方法の定着から、正解する児童が多かったと考えられる。 ●言葉や式での説明を苦手としている。条件があると書けるが、自分で説明する順序を組み立てて書くのは難しい。答え方に条件のある問題は無回答が少ないが、答え方に型がなく説明する問題は無回答の割合が多い。	・一人一人説明する力が付くように、児童の説明で終わらず、個々が話したりノートに書いたりする活動を積み重ねていく。

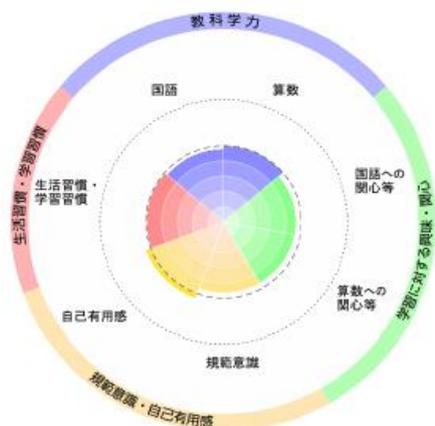
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○基本的な生活習慣が身に付いている児童が多い。 ●ゲーム、スマートフォンの利用時間が長い。 ●学習時間が少ない。	・メディアコントロール週間などを利用して、利用時間の目安を家庭に提示し、学習時間や読書とのバランスがとれるような取組を図る。

(3)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・朝読書や発達段階に合う良質な本を読む取組を推進し、児童の読書時間を確保し読む力を育てる。(おすすめの本の取組)

【受検者数】

108 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。